

市指定文化財<工芸品>

せいじみずさし
青磁水指

指定日 昭和41年4月15日

所在地 菊池市隈府 菊池神社



菊池神社にある青磁水指は、高さ14.5cm、口縁部13cm、胴部17.5cm、糸底部11cmの大きさのもので、色は白青色、口縁部には蓮華れんげの様子が、また胴部には唐草模様ただのぶがみられる。中国の明(1400~1500年ごろ)のものとみられ、隈部忠直の遺品と伝えられている。

「青磁」とは素地と釉薬ゆうやくに含まれる微量の鉄粉が焼成中に還元され、青緑色、または青系統の色合いを呈した磁器のことで、中国で初めて作られ、東アジア各地に広まったが、中国南宋時代(1200年前後)に作られたものが最も優れているといわれる。青磁は形状が端正で色調の優雅さが尊ばれる。南蛮物は無釉で堅く締まり、火色とか、焦げ色がある上、よく水分を含むところから古来から賞翫された。

水指は茶を点てる時、茶釜に水を足したり、茶碗・茶筌を洗い濯ぐのに清水を入れておく茶道具で、陶磁、金属、木製品がある。